

# 1. 阪神・淡路大震災 1995年1月17日

**【阪神・淡路大震災】 M7.3 都市直下型地震**  
死者**6,434人** 行方不明**3人** 負傷者**43,792人**  
全半壊**249,180棟**・焼損**7,574棟**：**46,0357世帯**  
1,153の避難所に**32万人**  
応急仮設住宅**48,300戸**  
(1995.8全戸完成～  
2000.3全戸撤去)  
災害復興公営住宅**42,911戸**



# 1) 顕在化した男女共同参画の課題

- 死者、女性が約1,000人多い
- 女性用、赤ちゃん用救援物資の不足
- 避難所、仮設住宅、復興公営住宅等、意思決定過程への女性の視点と参画の不足
- 女性たちの不安定雇用→解雇
- 震災同居→大家族の「嫁」役割
- 男性たちの閉じこもり、アルコール依存、DVなど
- 「男性」「長男」役割へのとらわれ  
→問われた「肩書き」をとった自分

## 2) 兵庫県立女性センターの取組

- 6日後からの相談と横断的情報提供  
←ふだんから横断的対応を行っている強み
- 「男女共生のまちづくり推進会議」と  
地域別フォーラム、意見募集  
→「男女共生のまちづくり提言」(1995.5)
- 生活の現場を担う女性たちの活躍  
→意思決定過程への女性の参画働きかけ
- 3月から、しごとづくりセミナー、技術講習等

## 3) 阪神・淡路大震災後の動き

- 防災基本計画、男女共同参画基本計画等
- 国連防災世界会議2005「兵庫行動枠組」<sup>3</sup>

## 2. 東日本大震災 2011年3月11日

1) 繰り返された課題 → 復興途上の現在

2) 東日本大震災後の動き

- 防災基本計画、災害対策基本法改正
- 団体・NPO、企業、自治体等の取組
- 内閣府「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」(2013.5)

‘主体的な担い手’

- 頻発する災害

3) これからへ向けて

